


環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 22年 10月 26日

オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 ¹					
「北海道広尾町有林における森林吸収プロジェクト」 ～サンタの森づくりプロジェクト～					
【依頼者】 プロジェクト代表事業者					
事業者名(フリガナ)	広尾町(ヒロオチョウ)				
住所	北海道広尾郡広尾町西4条7丁目				
代表者氏名	村瀬 優			代表者役職	町長
担当者氏名	熊木 伸夫			担当者 所属部署・役職	農林課長
担当者 E-mail	norin@town.hiroo.lg.jp	担当者電話番号	01558-2-0179		
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者					
プロジェクト事業者名					
プロジェクト参加者名					
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者					
事業者名(フリガナ)	広尾町(ヒロオチョウ)				
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。 <input type="checkbox"/> その他()である。				

¹ プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□(排出削減技術)を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報 ²																									
プロジェクト概要	<p>(プロジェクトの目的や具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>1. プロジェクトの目的・内容</p> <p>本プロジェクトは北海道広尾町有林において実施される森林施業（間伐：約 208ha）によって、健全な森林育成を図るとともに、持続的な CO2 吸収の量を維持していくことが第一の目的である。また、採算性の厳しい、林業部門への貴重な収入源として J-VER の収益を活用し、地域林業の雇用を維持することも目的である。さらに、今回のオフセット・クレジット (J-VER) の発行を地域活性化へも活用する。既存の観光資源を今回発行される J-VER と組み合わせ、より一層の地域活性化を図りたい。今後、企業を巻き込んだキャンペーンの実施、クリスマス商品の開発などを視野に環境・観光の両側面からも J-VER を活用していく。</p> <p>2. 適格性基準との整合性</p> <p>条件 1 プロジェクト実施地は森林法第 5 条が定める森林である。 資料 2 を参照されたい。</p> <p>条件 2 プロジェクト対象地では、土地の転用は計画されておらず、クレジット期間、それ以降についても森林施行計画書の方針に基づいて適切な森林管理を実施する。</p> <p>条件 3 当該町有林は森林施業計画の認定を受けている。 (認定番号 17-1 変 4-22)</p> <p>3. 法令遵守状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林・林業基本法：第 9 条森林所有者としての責務を果たしている。 ・森林法：第 5 条地域森林計画、第 11 条森林施業計画を策定している。 ・森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法 (間伐等促進法)：遵守している。 <p>4. 採用技術</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>メーカー名</th> <th>規格等</th> <th>耐用年数</th> <th>導入時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GeoXT</td> <td>TRIMBLE</td> <td>一体型 DGPS</td> <td></td> <td>平成22年</td> <td>面積測量機</td> </tr> <tr> <td>パーテックス</td> <td>HAGLOF</td> <td>60° タイプ</td> <td></td> <td>平成15年</td> <td>樹高測定器</td> </tr> <tr> <td>輪尺</td> <td>楯グリーンウッド</td> <td>30cm 中堀式 ST 型</td> <td></td> <td>平成20年</td> <td>胸高直径測定器(2本)</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	メーカー名	規格等	耐用年数	導入時期	備考	GeoXT	TRIMBLE	一体型 DGPS		平成22年	面積測量機	パーテックス	HAGLOF	60° タイプ		平成15年	樹高測定器	輪尺	楯グリーンウッド	30cm 中堀式 ST 型		平成20年	胸高直径測定器(2本)
機器名	メーカー名	規格等	耐用年数	導入時期	備考																				
GeoXT	TRIMBLE	一体型 DGPS		平成22年	面積測量機																				
パーテックス	HAGLOF	60° タイプ		平成15年	樹高測定器																				
輪尺	楯グリーンウッド	30cm 中堀式 ST 型		平成20年	胸高直径測定器(2本)																				

² プロジェクト情報は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC 体制等に関する内容を 2 ページ以内で記述してください。

5. モニタリング方法

面積：GPS による実測

地位級・成長量：プロット調査により地位級を特定し、北海道の収穫予想表を使用して成長量を特定する。

※各種係数については「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」の数値を採用

6. GHG 算定式の方法論への準拠性

当該方法論に記載されている算定式に準拠している。

7. モニタリング体制

広尾町役場内で体制を組む。(一部業務委託有)

※モニタリング計画書参照のこと

8. QA / QC 体制

(1) 教育訓練

広尾町役場内ではモニタリング開始前に、責任者、確認者、担当で勉強会を行い、制度理解を深めプロジェクトを実施する。また、モニタリング開始時に、業務委託先への制度理解を徹底し、事業を実施する。

(2) 情報の保管

使用したデータ・書類は文書化し電子データとして保管する。また、データのバックアップも常時行う。制度利用約款に従い、平成 35 年 3 月 31 日までその保管を行う。

(3) データの確認

データの確認は、正確性を高めるため、複数名によって実施し、その頻度も、1) 入力時 2) 責任者による確認時等複数回実施を予定している。

(4) 内部監査

吸収量の算定、報告、確認についてガイドラインに適合し、適切に実施がなされているか、モニタリング報告書提出前に、副町長が確認を行う。問題点がある場合には指摘し修正を確認する。

(5) 測定機器の維持・管理

モニタリング業務は外部委託とするが、委託先への制度説明によって、維持管理を徹底する。

(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。)

プロジェクト実施
場所

小別	旅行距離	樹種	住所
11林班30小班	4.16	カラマツ	広島町宇土ロ690-4
11林班32小班	5.68	カラマツ	広島町宇土ロ691-1
11林班29小班	4.44	カラマツ	広島町宇土ロ692
11林班30小班	0.64	カラマツ	広島町宇土ロ692
11林班42小班	3.24	カラマツ	広島町宇土ロ691-3, 692
13林班8小班	6.08	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
13林班21小班	1.32	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
13林班22小班	14.32	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
14林班6小班	2.2	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
14林班7小班	3.72	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
14林班24小班	1.28	カラマツ	広島町宇ンベ696-6
15林班5小班	5.16	カラマツ	広島町宇ンベ695-1
15林班13小班	1.8	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
15林班17小班	5.08	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
15林班31小班	2.76	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
15林班34小班	4.52	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
15林班35小班	0.16	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
15林班36小班	0.28	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
15林班37小班	3.2	カラマツ	広島町宇ンベ696-1
22林班18小班	2.56	カラマツ	広島町宇広尾431-1, 2, 5
22林班20小班	4.6	カラマツ	広島町宇広尾431-1
22林班83小班	1.84	カラマツ	広島町宇広尾431-1
22林班25小班	14.08	カラマツ	広島町宇広尾431-1
22林班28小班	6.88	カラマツ	広島町宇広尾431-1
22林班171小班	10.68	カラマツ	広島町宇広尾169-2, 169-2
22林班170小班	1.32	カラマツ	広島町宇広尾169-2
22林班02小班	2.56	カラマツ	広島町宇広尾123-2
22林班07小班	1.84	カラマツ	広島町宇広尾123-2
25林班36小班	2	カラマツ	広島町宇茂寄930-2
32林班38小班	6.32	カラマツ	広島町白樺通北3丁目7地先
32林班39小班	3.32	カラマツ	広島町白樺通北3丁目7地先
96林班15小班	14.76	カラマツ	広島町宇野塚6線74-4地先
96林班22小班	0.32	カラマツ	広島町宇野塚6線73-11地先
96林班23小班	0.2	カラマツ	広島町宇野塚6線72-11地先
98林班6小班	2.28	カラマツ	広島町宇野塚3線67地先
98林班177小班	4.84	カラマツ	広島町宇野塚3線68-3地先
98林班36小班	2.08	カラマツ	広島町宇野塚3線68-3地先
98林班22小班	6.84	カラマツ	広島町宇野塚7線71-1地先
98林班23小班	0.84	カラマツ	広島町宇野塚7線71-1地先
142林班28小班	2.12	カラマツ	広島町宇数別16線59-3
13林班23小班	4	トドマツ	広島町宇ンベ696-1
15林班30小班	3.4	トドマツ	広島町宇ンベ696-1
22林班80小班	4.16	トドマツ	広島町宇広尾123-2
25林班34小班	0.28	トドマツ	広島町宇茂寄930-2
100林班5小班	2.08	トドマツ	広島町宇野塚7線83-1地先
100林班6小班	2.08	トドマツ	広島町宇野塚7線83-1地先
145林班49小班	0.6	トドマツ	広島町宇数別11線39-1
15林班20小班	6	オフセット	広島町宇ンベ696-1
132林班13小班	21.36	オフセット	広島町宇数別14線105-4地先

プロジェクト期間	2008年4月1日～2012年3月31日(5年0ヶ月)						
クレジット期間	2008年4月1日～2012年3月31日						
プロジェクト計画 開始届提出日	2010年9月17日						
妥当性確認終了 日	2010年10月26日						
想定削減・吸収 量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	526	799	1,147	1,154	1,155	4,781
適用実施規則	オフセット・クレジット (J-VER) 制度実施規則 ver2.2						
適用モニタリング 方法ガイドライン	オフセット・クレジット (J-VER) 制度モニタリング方法ガイドライン (森林管理プロジェクト用) ver1.7						
適用方法論	方法論番号	R001 ver 3.1					
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大 (間伐促進型プロジェクト) に 関する方法論					
ダブルカウントの防止措置							

ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	(プロジェクト代表事業者と同一の場合は記入不要)	印
公的な報告・公表制度(判明している公的制度)	該当なし	
自主的な報告・公表対象(対象となるホームページ、環境報告書等)	該当なし	
備考欄		

以上